

2014年ADB年次総会の概要
(2014年5月4日、於:カザフスタン・アスタナ)

2014年5月30日
財務省国際局

1. ADB年次総会の概要

- 今回の年次総会においては、中尾総裁より、アジア開発基金(ADF:低所得国向け支援。財源はドナーによる増資)と、通常資本財源(OCR:中所得国支援。財源は債券発行)を統合する案について、今後検討を進める旨、発表。
- また、中尾総裁は、ADBの長期戦略である「Strategy 2020」(2008年策定)の中間レビューを実施し、残りの戦略期間(2014年～2020年)の戦略的優先事項としての10項目を定めたことも発表。

(参考) 戦略的優先事項10項目

- ①インクルーシブな成長、②環境及び気候変動、③地域協力・統合、④インフラ整備、⑤中所得国への対応、⑥民間部門の育成、⑦知識の共有・提供の強化、⑧財源とパートナーシップ強化、⑨費用対効果の向上、⑩組織体制の強化

- 日本(麻生副総理)からは、重要な節目となる2017年の50回年次総会を、日本に誘致したい旨、表明。

(参考) 過去に日本がホストしたADB総会

- ・ 創立時総会(1966年) 東京 ・ 第20回(1987年) 大阪 ・ 第30回(1997年) 福岡 ・ 第40回(2007年) 京都

2. 麻生副総理の総務演説のポイント(抜粋)

- アジア開発基金(ADF)と通常資本財源(OCR)を統合することで融資能力の強化を目指しています。これにより、拡大する低所得国の資金ニーズに対応する能力が強化されます。ADFの最大ドナーとして、日本は、この革新的なアイデアを歓迎します。今後、この議論が前向きな成果へと繋がることを期待します。
- ADBがストラテジー2020の中間レビューを実施しましたが、これはADBがこの地域の変わりゆく開発課題により良く対応していく助けになると思います。このレビューで示された10の戦略的優先事項を歓迎します。これにより、ADBは事業に注力し、より効果的に開発課題に対処していけると考えます。
- 戦略的優先事項の中で、私から特に4つの分野、(1)インフラ支援、(2)防災、(3)ヒトを育てる支援、(4)金融市場の発展、について述べます。これら4つの分野はアジアの発展のためにとりわけ重要であり、日本はこれらの分野の支援にあたり、ADBと共に取り組んできました。
- 2017年のADB年次総会は、第50回総会です。日本政府は、ADBの歴史の中で重要な節目となるこの総会を、日本に誘致したいと考えております。

3. ADB年次総会一覧

回数	開催時期	開催都市	議長国	出席大臣
創立	1966年11月24～26日	東京	日本	福田 赳夫
第1回	1968年4月4～6日	マニラ	フィリピン	宇佐美 洵（日銀総裁）
第2回	1969年4月10～12日	シドニー	オーストラリア	福田 赳夫
第3回	1970年4月9～11日	ソウル	韓国	佐々木 直（日銀総裁）
第4回	1971年4月15～17日	シンガポール	シンガポール	福田 赳夫
第5回	1972年4月20～22日	ウィーン	タイ	佐々木 直（日銀総裁）
第6回	1973年4月26～28日	マニラ	インドネシア	愛知 揆一
第7回	1974年4月25～27日	クアラルンプール	インド	福田 赳夫
第8回	1975年4月24～26日	マニラ	ニュージーランド	森永 貞一郎（日銀総裁）
第9回	1976年4月22～24日	ジャカルタ	バングラデシュ	森永 貞一郎（日銀総裁）
第10回	1977年4月21～23日	マニラ	マレーシア	坊 秀男
第11回	1978年4月24～26日	ウィーン	パキスタン	森永 貞一郎（日銀総裁）
第12回	1979年5月2～4日	マニラ	ハプアニューギニア	金子 一平
第13回	1980年4月30日～5月2日	マニラ	フィリピン	竹下 登
第14回	1981年4月30日～5月2日	ホノルル	アメリカ	渡辺 美智雄
第15回	1982年4月28～30日	マニラ	ビルマ	渡辺 美智雄
第16回	1983年5月4～6日	マニラ	ネパール	竹下 登
第17回	1984年4月25～27日	アムステルダム	オランダ	前川 春雄（日銀総裁）
第18回	1985年4月30日～5月2日	バンコク	タイ	竹下 登
第19回	1986年4月30日～5月2日	マニラ	スリランカ	竹下 登
第20回	1987年4月27～29日	大阪	日本	宮澤 喜一
第21回	1988年4月28～30日	マニラ	西サモア	澄田 智（日銀総裁）
第22回	1989年5月4～6日	北京	中国	村山 達雄
第23回	1990年5月2～4日	ニューデリー	インド	橋本 龍太郎
第24回	1991年4月24～26日	バンクーバー	カナダ	橋本 龍太郎
第25回	1992年5月4～6日	香港	香港	羽田 孜

回数	開催時期	開催都市	議長国	出席大臣
第26回	1993年5月4～6日	マニラ	フィリピン	林 義郎
第27回	1994年5月3～5日	ニース	フランス	藤井 裕久
第28回	1995年5月3～5日	オークランド	ニュージーランド	武村 正義
第29回	1996年4月30日～5月2日	マニラ	ドイツ	松下 康雄（日銀総裁）
第30回	1997年5月11～13日	福岡	日本	三塚 博
第31回	1998年4月29日～5月1日	ジュネーブ	スイス	榑原 英資（財務官）
第32回	1999年4月30日～5月2日	マニラ	フィリピン	宮澤 喜一
第33回	2000年5月6～8日	チェンマイ	タイ	宮澤 喜一
第34回	2001年5月9～11日	ホノルル	アメリカ	村上 誠一郎（副大臣）
第35回	2002年5月10～12日	上海	中国	塩川 正十郎
第36回	2003年6月30日	マニラ	トルコ	塚原 治（日本国理事）
第37回	2004年5月15～17日	済州島	韓国	谷垣 禎一
第38回	2005年5月4～6日	イスタンブール	トルコ	谷垣 禎一
第39回	2006年5月5～6日	ハイデラバード	インド	谷垣 禎一
第40回	2007年5月6～7日	京都	日本	尾身 幸次
第41回	2008年5月5～6日	マドリード	スペイン	額賀 福志郎
第42回	2009年5月4～5日	バリ	インドネシア	与謝野 馨
第43回	2010年5月3～4日	タシケント	ウズベキスタン	菅 直人
第44回	2011年5月5～6日	ハノイ	ベトナム	野田 佳彦
第45回	2012年5月4～5日	マニラ	フィリピン	安住 淳
第46回	2013年5月4～5日	デリー	インド	麻生 太郎
第47回	2014年5月4～5日	アスタナ	カザフスタン	麻生 太郎
第48回	2015年5月4～5日	バクー	アゼルバイジャン	

（注）第36回は、イラク戦争等の理由により、マニラにおいて規模を縮小して開催した。